

2018年10月12日

『ALL REVIEWS 書評ライブ 読書会』

池袋コミュニティ・カレッジにて開講

第159回直木賞受賞作家

『ファーストラヴ』著者 島本理生さんが

11月3日(土)のゲストで登場



セブン&アイ・ホールディングス傘下の株式会社セブンカルチャーネットワーク（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 萩原秀之）は、2018年11月3日（土）より、池袋コミュニティ・カレッジ（西武池袋本店別館8・9階）にて、「ALL REVIEWS（※）書評ライブ読書会」を開講いたします。

（※）活字メディア（新聞、週刊誌、月刊誌）に発表された書評を再録するインターネット書評無料閲覧サイト。過去に書かれた書評を無料で読むことができ、その書評で取り上げられている本をサイトで即座に購入することも可能。その購入による“書評家への還元システム”あり。

ブックレビュー・アーカイブサイトの書評家が1冊の本を徹底解説！ 自分では気づかなかった作品の世界に出会う会！

書物の力と書評家の熱意を感じていただくため、日本の代表的書評家が1冊の本を徹底解説する読書会を開講いたします。書評家が、各回のテーマ作品をどう読むことができるかを解説し、読書会に参加される方が、自分では気づかなかった作品の読み方に気づき、読書体験を深め、暮らしを豊かにできる会です。

毎回好評を頂いている書評ライブ第7回目は、若い世代の壊れそうなくらいの切ない思いを、確かな文章で綴り、読者の支持も多い島本さんの第159回直木賞受賞作『ファーストラヴ』がテーマです。

「生きづらい若い人が、生きやすくなる小説家書きたい」（島本理生）

第7回目の11/3（土）は、書評家の解説に加え、著者をゲストに作家の意図も聞きだします。著書の島本理生とライター瀧井朝世が語り合い、読書会参加の皆様からの質問にお答えし、ともに感動を深めてまいります。

『ファーストラヴ』（文藝春秋刊）

2006年「この恋愛小説がすごい」第1位に輝き、2017年秋に映画化された『ナラタージュ』など恋愛小説を数多く手がけ、デビュー当時から「生きづらい若い人が、生きやすくなる小説家書きたい」と考え、若い世代の、壊れそうなくらいの切ない思いを、確かな文章で綴ってきた島本理生さん。今作でテーマに選んだのは「家族」。「恋愛ベースのミステリーなら書けると挑んだ本格的エンターテインメント小説です。

主人公は、ある女子大生の凶行を調査することになった臨床心理士。関係者への面会と裁判を通じて明らかにされる女子大生と家族の秘密とは？「家族」という名の迷宮を描き尽くす、渾身の長篇小説。

<ゲスト> 『ファーストラヴ』著者・島本理生

2001年『シルエット』で群像新人文学賞優秀作を受賞。03年『リトル・バイ・リトル』で野間文芸新人賞。15年『Red』で島清恋愛文学賞受賞。著書に『ナラタージュ』『真綿荘の住人たち』『アンダスタンド・メイビー』『七緒のために』『夏の裁断』『イノセント』『わたしたちは銀のフォークと薬を手にして』など多数。『ファーストラヴ』で第159回直木賞を受賞。



<講師> 瀧井朝世

出版社勤務を経てライターに。WEB本の雑誌「作家の読書道」、「波」「きらら」「週刊新潮」「an・an」「CREA」「SPRING」「小説宝石」「ミステリーズ!」「読楽」「小説幻冬」「新刊ニュース」などで作家インタビュー、書評、対談企画などを担当。2009年～13年にTBS系「王様のブランチ」ブックコーナーに出演。現在は同コーナーのブレーンを務める。BUKATSUDO「贅沢な読書会」モデレーター。著書に『偏愛読書トライアングル』『あの人とあの本の話』。



【講座概要】

講座名	ALL REVIEWS 書評ライブ 読書会
開催日時 講師・テーマ書籍	11/3 (土) 13:00~15:00 瀧井朝世 『ファーストラヴ』 (島本理生著)
開催場所	池袋コミュニティ・カレッジ 4番教室 東京都豊島区南池袋 1-28-1 西武池袋本店別館 8階
受講料	会員・学生 各2,278円、一般 各2,818円

<池袋コミュニティ・カレッジのご紹介>

美術・芸術・文化・音楽・フィットネス等、広い分野のカルチャー講座を約1,200講座開講している、セブン&アイグループのカルチャースクールです。

「学びと体験」の宝庫であるさまざまな講座を通じて、暮らしの中に喜び・潤い・輝きをもたらす文化的な生活へお客様をいざないます。

西武池袋本店別館 8・9階 池袋コミュニティ・カレッジ

<http://www.7cn.co.jp/7cn/culture/cc/>



<セブンカルチャーネットワークのご紹介>

単なるモノの消費から、知見を広げ知友との交流を深める体験へと、多くの人が生活に求める「豊かさ」は変化しています。その変化を見逃さず「カルチャー」と「トラベル」をキーワードに、「学び・体験・発表」の新しいサイクルを創造、お客様の期待に応える「コト商品」を提供することが使命です。また、グループの事業会社の「リアル」と「ネット」をフル活用、お客様のニーズにあったコンテンツを揃えてお客様にご満足いただけるサービスの提供に取り組んでいます。



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社セブンカルチャーネットワーク 営業企画部 柿沼・鈴木

電話 03(5949)3844 FAX03(5949)3874 (受付時間:9時~17時 土日休)

メールお問い合わせ:<https://www.7cn.co.jp/voice.html>